GENERAL RESEARCH

「2022年の初詣・参拝とオンライン化」に関する調査

2021.10.28 Fri

https://general-research.co.jp

GENERAL RESEARCH

【2022年の初詣・参拝とオンライン化に関する調査】オンライン参拝は後悔していない？コロナ禍でも初詣・参拝をオンラインでした人の理由とは？

こんにちは。ゼネラルリサーチ株式会社（代表取締役：石橋 義典、本社：東京都渋谷区）は、全国20代～60代男女を対象に、「2022年の初詣・参拝とオンライン化」に関する調査を実施しました。

ご協力いただいた方、ありがとうございました。

9月20日を迎えて緊急事態宣言が正式に解除され、徐々に日常を取り戻しつつあります。また、2021-2022シーズンの新型インフルエンザ（以前）に、新規感染者数が最近極めて減少傾向にあるなど、コロナ禍の状況に向けてポジティブな動きを見せています。

コロナ禍となって2回目の年末年始が近づいてきました。そのような背景もあり、本年（2021年）は初詣・参拝はどのような形でされたのでしょうか。

その他、感染拡大の不安を抱えながら参拝された方々の中にはどのような人たちがいたのか、オンライン参拝をご覧になった方はどのような理由でされたのでしょうか。

昨年10月に実施した「新型コロナ禍（以前）の初詣・参拝とオンライン化」に関する調査と比較し、1年経過した現在、各年代ごとの変化はどのようになっているのか、今年の調査結果から、コロナ禍の初詣・参拝とオンライン参拝の変化を考察しました。

ゼネラルリサーチ株式会社では、全国20代～60代男女を対象に、「2022年の初詣・参拝とオンライン化」に関する調査を実施しました。

※調査概要はこちら：https://general-research.co.jp/report/90/

調査結果のポイント

1.新しい形式の年末年始で参拝（2022年）の初詣・参拝に対する思いには差があるか

2.昨年（2021年）の初詣・参拝とオンライン参拝の比較から見えてきたこと

3.コロナ禍でも「参拝とオンライン化」をした方の理由は、その中でどのようなことがあったのか

4.コロナ禍の初詣・参拝（以前）とオンライン参拝（以前）の比較から見えてきたこと

5.各年代別オンライン初詣・参拝の出来ごとを年代別に考察

＜調査1＞ 新しい形式の年末年始で参拝（2022年）の初詣・参拝に対する思いには差があるか

はじめに、昨年（2021年）の初詣・参拝に対する特徴点から見ていきましょう。

＜図1＞

「参拝（2021年の初詣・参拝）に関してその考え方を教えてください」と質問したところ、全体では「ポジティブな意見」が51.2%（↑）で、「どちらでもない」が31.0%（↓）で、「ネガティブな意見」が17.8%（↓）と、「ポジティブな意見」が「どちらでもない」を上回っていることが分かりました。

6割近くの方が、初詣・参拝に対ポジティブな考え方です。

年末年始に入る前までは、コロナ禍の「ワクチン待ち」の状況が続いていたことから、「ワクチンの接種を早く終わらせたい」という思いが強くあったことも、ポジティブな考え方の要因の一つとなったのではないでしょうか。

また、「ワクチンの接種が進んでいる」ことで、「参拝に行きたい」という思いが強くあったのではないでしょうか。

昨年（2021年）の初詣・参拝に対する考え方を年代別でみてみると、

・20代：ポジティブ（↑）

・30代：ポジティブ（↑）

・40代：どちらでもない（↑）

・50代：どちらでもない（↑）

・60代：どちらでもない（↑）

＜図2＞ 年代別の昨年（2021年）の初詣・参拝に対する考え方

昨年（2021年）の初詣・参拝に対する考え方を年代別でみてみると、20代・30代・40代・50代・60代（全年代）で、「どちらでもない」が「ポジティブな意見」を上回っていることが分かりました。

「どちらでもない」が「ポジティブな意見」を上回っていることから、昨年（2021年）の初詣・参拝に対する考え方は、

・「ワクチンの接種が進んでいる」ことで、「参拝に行きたい」という思いが強くあったのではないでしょうか。